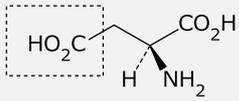
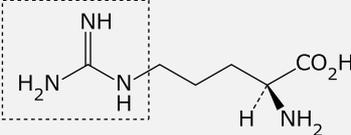
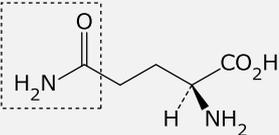
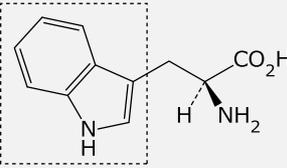
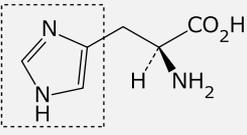
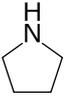
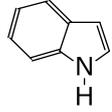
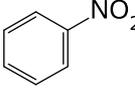
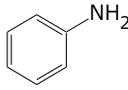
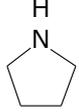
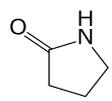
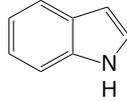
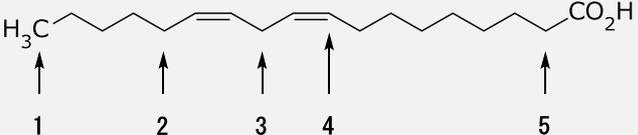
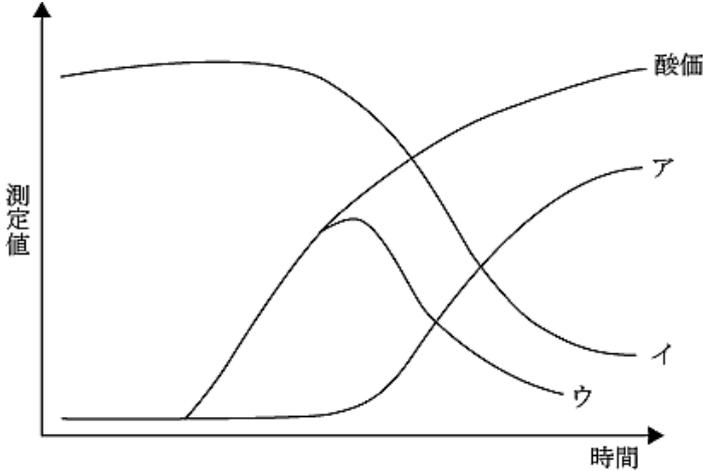
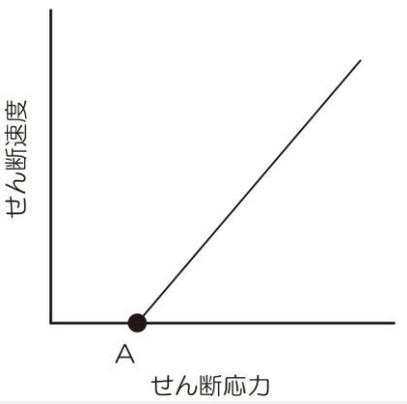


必須問題

<p>問10 (化学) 解答：2</p>	<p>次のアミノ酸のうち、破線で囲んだ部分の塩基性が最も強いのはどれか。1つ選べ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>4</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5</p> </div> </div>
<p>メディヤマ</p>	<p>塩基性度 (必須)</p> <p>• 塩基性を示さない物質：ピロール、アミド、ニトリル、ニトロ基</p> <p>塩基性が最も強い含窒素化合物はどれか。1つ選べ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>CH₃CONHCH₃</p> <p>3</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>CH₃CN</p> <p>4</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5</p> </div> </div>
<p>全統模試Ⅱ</p>	<p>問10 次の含窒素化合物のうち、塩基性度が最も高いのはどれか。1つ選べ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>1</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>2</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>3</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>4</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>5</p>  </div> </div>
<p>問16 (衛生) 解答：3</p>	<p>リノール酸において、変質の開始反応となる水素の引き抜きがもっとも起こりやすい部位はどこか。1つ選べ。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>
<p>メディヤマ</p>	<p>食品の変質：油脂の変敗試験</p>

<p>全統模試 I</p>	<p>問 123 リノール酸におけるヨウ素価、過氧化物価、チオバルビツール酸試験値の結果を図のア～ウに示した（酸価はあらかじめ図中に示す）。油脂の変敗の指標と試験法の組合せのうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p>  <p>1 油脂の変敗は、油脂中のグリセロール骨格の酸化による。</p>
<p>問 22 （衛生） 解答：5</p>	<p>生体内で起こる次の代謝反応のうち、シトクロム P450 の寄与が小さいのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 フェナセチンの O-脱アルキル化 2 N-アセチルアミノフルオレインの N-水酸化 3 パラチオンの酸化脱硫酸化 4 四塩化炭素の還元的脱ハロゲン化 5 エタノールの酸化
<p>メディやま</p>	<p>化学物質の代謝・代謝的活性化：アルコール代謝</p>
<p>問 23 （衛生） 解答：3</p>	<p>赤外線の特徴や生体への影響に関する記述のうち、正しいのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 紫外線に比べ、皮膚における透過性が低い。 2 可視光線に比べ、波長が短い。 3 ガラス工などの高温作業従事者における白内障の原因となる。 4 日焼けなどによる色素沈着の原因となる。 5 遠赤外線は殺菌灯に用いられる。
<p>メディやま</p>	<p>非電離放射線：赤外線</p>
<p>問 32 （薬理） 解答：1</p>	<p>K⁺チャンネル開口作用と分子内からの一酸化窒素（NO）遊離作用を併せもつ狭心症治療薬はどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ニコランジル 2 ベプリジル 3 ミノキシジル 4 グリベンクラミド 5 硝酸イソソルビド
<p>全統模試 II</p>	<p>問 156 循環器系に作用する薬物に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>1 ニコランジルは、一酸化窒素（NO）遊離及び ATP 感受性 K⁺チャンネル遮断により、血管拡張作用を示す。</p>
<p>問 34 （薬理） 解答：5</p>	<p>カテコール-O-メチルトランスフェラーゼ（COMT）を阻害し、Oddi 括約筋を弛緩させる排胆薬はどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ポリエンホスファチジルコリン 2 グリチルリチン 3 ウルソデオキシコール酸 4 パパペリン 5 フロプロピオン
<p>全統模試 II</p>	<p>問 159 消化器系に作用する薬物に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>5 フロプロピオンは、アセチルコリン M₃ 受容体を遮断し、Oddi 括約筋の収縮を抑制する。</p>

問 35 (薬理) 解答：4	ビルダグリプチンの血糖降下作用の機序はどれか。1つ選べ。 1 α -グルコシダーゼを害 2 ATP感受性K ⁺ チャネル遮断 3 アルドース還元酵素阻害 4 シペプチシルペプチダーゼ-4 (DPP-4) 阻害 5 グリコーゲン合成酵素阻害
全統模試Ⅱ	問 36 インクレチンの分解を抑制し、血糖降下作用を示す薬物はどれか。1つ選べ。 1 テネリグリプチン 2 メトホルミン 3 ピオグリタゾン 4 アカルボース 5 グリメピリド
問 44 (薬剤) 解答：3	薬物を点滴静注したとき、定常状態における血中薬物濃度は2 μ g/mLであった。また、そのときの尿中薬物濃度は200 μ g/mLであり、尿量は1 mL/minであった。この薬物の腎クリアランス(mL/min)に最も近い値はどれか。1つ選べ。 1 2 2 10 3 100 4 200 5 400
メディアやま	腎排泄の計算
問 45 (薬剤) 解答：3	一般に、高齢者において増大するのはどれか。1つ選べ。 1 胃内容排出速度 2 血漿中アルブミン濃度 3 脂溶性薬物の体重あたりの分布容積 4 肝臓での薬物代謝活性 5 糸球体ろ過速度
メディアやま	・体内動態変動（高齢者：脂溶性薬物の分布容積増加）
問 46 (薬剤) 解答：2	患者のクレアチンクリアランスに基づいて投与設計が行われる治療薬物モニタリング(TDM)対象薬はどれか。1つ選べ。 1 テオフィリン 2 テイコプラニン 3 セファレキシン 4 シンバスタチン 5 リドカイン
メディアやま	・TDMの各論（バンコマイシンなど）
問 51 (薬剤) 解答：2	以下のレオグラムのA点から求められるのはどれか。1つ選べ。  1 ヤング率 2 降伏値 3 チキソトロピー 4 動粘度 5 弾性率
全統模試Ⅱ	問 175 レオロジーに関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。 1 グリセリンのレオグラムは降伏値をもち、降伏値以上のずり応力をかけると次第に粘度が低下する。

問 53 (薬剤) 解答：3	粉末×線回折測定法により評価される医薬品の物性はどれか。1つ選べ。 1 比表面積 2 空隙率 3 結晶性 4 吸湿性 5 旋光度
全統模試Ⅱ	問 203 シメチジンには結晶多形が存在することが知られている。結晶多形と、その確認に用いられる粉末×線回折法に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。 4 粉末×線回折法では、結晶構造に基づいた同心円状の回折像が得られる。
問 54 (薬剤) 解答：4	経口投与する固形製剤の著しい生物学的非同等性を防ぐことを目的として実施される一般試験法はどれか。1つ選べ。 1 制酸力試験法 2 製剤均一性試験法 3 崩壊試験法 4 溶出試験法 5 消化力試験法
メディヤま	溶出試験
問 62 (治療) 解答：2	アトピー性皮膚炎に関するのうち、最も適切なのはどれか。1つ選べ。 1 皮膚のバリア機能が亢進している。 2 対症療法が治療の中心となる。 3 湿疹は左右非対称にみられる。 4 主にⅡ型アレルギーが関与している。 5 抗ヒスタミン薬が第1選択薬である。
全統模試Ⅱ	問 187 アトピー性皮膚炎に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。 4 ステロイド外用剤が治療の第一選択であるが、保湿剤の併用も肌のバリア機能を高める上で重要である。
問 65 (治療) 解答：3	ウイルス性肝炎に関するのうち、最も適切なのはどれか。1つ選べ。 1 A型は多くが慢性化しやすい。 2 B型は経口感染である。 3 C型は血液感染である。 4 B型はRNAウイルスが原因である。 5 C型はDNAウイルスが原因である。
全統模試Ⅱ	問 183 C型慢性肝炎に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。 1 感染経路として血液感染が最も多い。 問 225 HCV (C型肝炎ウイルス)に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。 1 HCVは、主に経口感染する。
問 73 (法規) 解答：1	厚生労働大臣が、薬剤師の免許の取消等の処分をするにあたって、あらかじめ意見を聴かなければならないのはどれか。1つ選べ。 1 医道審議会 2 都道府県知事 3 内閣府 4 薬事・食品衛生審議会 5 裁判所
全統模試Ⅰ	問 75 厚生労働大臣が薬剤師免許の取消処分をしようとする場合の諮問機関はどれか。1つ選べ。 1 薬事・食品衛生審議会 2 地方薬事審議会 3 医道審議会 4 中央社会保険医療協議会 5 社会保障審議会

問 82 (実務) 解答：1	医療機関や薬局において血液凝固因子製剤を取扱う際の留意点として、 <u>関連法規に記載のない</u> のはどれか。1つ選べ。 1 他のもとの区別し、鍵のかかる金庫に保管する。 2 使用に関する適切な説明を行い、患者の理解を得るように努める。 3 患者ごとに使用記録を作成する。 4 作成した使用記録を20年間保管する。 5 本剤に由来すると疑われる感染症に関する情報を厚生労働省に報告する。									
メディヤま	特別な配慮を要する医薬品（特定生物由来製品の取扱い）									
問 83 (実務) 解答：5	薬袋に記載する事項として必須なのはどれか。1つ選べ。 1 処方医名 2 処方箋発行日 3 薬品名 4 使用上の注意 5 調剤年月日									
メディヤま	調剤（薬袋の記載事項）									
問 84 (実務) 解答：3	妊婦への投与が禁忌である医薬品はどれか。1つ選べ。 1 アセトアミノフェン 2 インスリン 3 炭酸リチウム 4 プレドニゾロン 5 ヘパリンナトリウム									
メディヤま	服薬指導（妊婦）									
問 86 (実務) 解答：2	B型肝炎患者の血液で床が汚染された場合に適用される消毒薬はどれか。1つ選べ。 1 ポビドンヨード 2 次亜塩素酸ナトリウム 3 エタノール 4 クロルヘキシジングルコン酸塩 5 ベンザルコニウム塩化物									
メディヤま	消毒薬（ノロウイルスに用いる消毒薬（次亜塩素酸ナトリウム））									
問 88 (実務) 解答：3	特定生物由来製品に <u>該当しない</u> 生物由来製品はどれか。1つ選べ。 1 人免疫グロブリン製剤 2 血小板製剤 3 生ワクチン 4 人血清アルブミン製剤 5 血液凝固因子製剤									
全統模試Ⅱ	問 86 医療機関で使用した場合に、記録を20年間保存する <u>必要がない</u> のはどれか。1つ選べ。 1 免疫グロブリン製剤 2 血液凝固因子製剤 3 アルブミン製剤 4 インターフェロンβ-1b（遺伝子組換え） 5 インフルエンザHAワクチン (解説) 生物由来製品と特定生物由来製品の記録の保存期間を以下に示す。 <table border="1" data-bbox="379 1659 1254 1854"> <thead> <tr> <th></th> <th>医療機関での患者使用記録の保存期間</th> <th>製造業者等での提供者・製造記録の保存期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生物由来製品</td> <td>—</td> <td>10年間</td> </tr> <tr> <td>特定生物由来製品</td> <td>20年間</td> <td>30年間</td> </tr> </tbody> </table> インフルエンザHAワクチンは生物由来製品であるため、医療機関で使用した場合に、記録を保存する必要はない。		医療機関での患者使用記録の保存期間	製造業者等での提供者・製造記録の保存期間	生物由来製品	—	10年間	特定生物由来製品	20年間	30年間
	医療機関での患者使用記録の保存期間	製造業者等での提供者・製造記録の保存期間								
生物由来製品	—	10年間								
特定生物由来製品	20年間	30年間								